

第二次青森空港活性化ビジョン 一部変更案 変更箇所一覧

ページ	当初	一部変更	変更理由・解説
表紙	平成 30～34 年度 【2018～2022 年度】	平成 30～令和 7 年度 【2018～2025 年度】	期間延長による。
表紙	平成 30 年 3 月 29 日	平成 30 年 3 月 29 日 令和 5 年 3 月 6 日一部変更	期間延長による。
P2	(1.3 ビジョンの期間 本文) 本ビジョンは、～ (中略)～の 5 年間とします。	(1.3 ビジョンの期間 本文) 本ビジョンは当初、～ (中略)～の 5 年間としたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により十分な活動を実施できなかった期間を考慮し、平成 30 (2018) 年度から令和 7 (2025) 年度までの 8 年間とします。	期間延長による。 期間延期理由および延長後の期間を明示。
P3	(図 2-1 中) 羽田 新千歳 E170/175※ ※名古屋 (小牧)	(図 2-1 中) 東京 (羽田) 札幌 (新千歳) E170,E175	路線及び運航機種の表記を「青森空港概要 2022」の表記に統一する形へ修正。
P13	(4.2 増加する訪日客の取り込み 本文) 平成 32 (2020) 年に、4,000 万人、平成 42 (2030) 年に 6,000 万人	(4.2 増加する訪日客の取り込み 本文) 令和 2 (2020) 年に、4,000 万人、令和 12 (2030) 年に 6,000 万人	元号の変更に合わせ、未来日付の元号を修正。

P13	(4.2 増加する訪日客の取り込み 本文) 我が国への～中略～ 東京オリンピック、パラリンピック(2020年)が近づくとつれ、一層訪日需要が高まる～(後略)～	(4.2 増加する訪日客の取り込み 本文) 我が国への～中略～ 東京オリンピック、パラリンピック(2021年)及び、 大阪・関西万博(2025年) が近づくとつれ、一層訪日需要が高まる～(後略)～	東京オリンピックの開催年の変更を反映。 期間延長に伴い、訪日需要が高まると想定される主要なイベント(大阪万博)を追記。
P16	(5.1 構成 本文及び全体目標) 平成34(2022)年度	(5.1 構成 本文及び全体目標) 令和7(2025)年度	期間延長による。
P17	((1)航空ネットワークの維持・拡大) (前略)～東京オリンピック・パラリンピックの開催や～(後略)	((1)航空ネットワークの維持・拡大) (前略)～東京オリンピック・パラリンピック 及び大阪・関西万博 の開催や～(後略)	期間延長に伴い、訪日需要が高まると想定される主要なイベント(大阪万博)を追記。
P17～25	(各施策の目標 目標値) 【H34】	(各施策の目標 目標値) 【 R7 】	期間延長による。
P17～39	観連 観連：青森県観光連盟	観機 観機：青森県観光国際交流機構	組織名変更による。
P31		附則 この要綱は、令和4年10月26日から施行する。	以下の担当者名・組織名変更による。 (WG 開催日に合わせて設定)
P31	(青森空港振興会議 役職) 常任幹部	(青森空港振興会議 役職) 事務局課長	記載誤りの修正による。
P31	公益社団法人青森県観光連盟	公益社団法人青森県観光国際交流機構	組織名変更による。 (令和4年10月1日付での変更)